

弦楽合奏団

エテルニータ

第3回コンサート

Eternita — イタリア語で“永遠”という意 —

W.A.Mozart
Divertimento
E.J.Haydn
Cello concerto
G.A.Paganini
Violata per Stradivari
J.S.Bach
Chaconne

2005年6月12日(日) 2:00pm
パルティとちぎ男女共同参画センター



ご挨拶

本日は第3回 弦楽合奏団「エテルニータ」演奏会にお越しくださいませ、ありがとうございます。

風薫るこのよき季節、北海道から参加しております私にとりましてなんと清々しいことでしょう。

この季節ならではの美しいアンサンブルをお届けできるよう、練習を重ねて参りました。

この合奏団は、2000年に行われた宇都宮短期大学百周年記念コンサートでの再会をきっかけとして

結成されましたが、早いもので本日で第3回目を迎えることが出来ました。

仕事を持つ仲間が練習時間をやりくりして集まるのはかなり困難ですが、

心をひとつにして今日の演奏会に臨んでおります。どうぞごゆっくりと弦の響きをお楽しみくださいませ。

最後になりましたが、本日のためにご協力、お力添えをいただきました皆様に、

この場をお借りし御礼申し上げます。

片山 淑子

プログラム

モーツァルト ディヴェルティメント ヘ長調 K.138(125c)Barenreiter版

W.A.Mozart *Divertimento F-Dur K.138(125c)*

I Allegro II Andante III Presto



バッハ ブランデンブルグ協奏曲 第3番 ト長調 BWV.1048

J.S.Bach *Brandenburg Concerto No.3 G-Dur BWV.1048*

I Allegro II Adagio III Allegro



ヴィヴァルディ コンチェルト grosso ニ短調 Op.3-11

A.Vivaldi *Concerto grosso d-moll Op.3-11*

I Allegro II Largo e Spiccato III Allegro

《 Vn solo 1st.村岡 聖子 2nd.篠原 香乃子 Vc solo 荒川 育子 》

休憩

ヴァンハル コントラバス協奏曲 二長調

J.B.Vanhal *Contrabass Concerto D-Dur*

I Allegro moderato II Adagio III Finale. Allegro moderato

《 Cb 増山 一成 / 読売日本交響楽団コントラバス奏者 》



ブリテン シンプル・シンフォニー

B.Britten *Simple Symphony*

I Boisterous Bourree II Playful Pizzicato III Sentimental Saraband IV Frolicsome Finale

プログラムノート

❖ モーツァルト ディヴェルティメント ヘ長調 K.138(125c)

ディヴェルティメント(Divertimento)は日本語では一般に「喜遊曲」と訳されているが、「娯楽」とか「慰め」などといった意味で、当時の王侯貴族の会合や食事の際に演奏される娯楽音楽である。楽器編成はさまざまだが、概して小編成の室内楽風で、楽章の数も6楽章あるものも多かった。

モーツァルトにはディヴェルティメントと名付けられた作品が約30曲あるが、その多くは一見娯楽音楽に見えながら、モーツァルトの美の極致とこまやかなペースにあふれた物が多い。

特に弦楽のみのK.138は美しく心を打たれるだろう。

❖ バッハ ブランデンブルグ協奏曲 第3番 ト長調 BWV.1048

1731年3月24日付けで、バッハはブランデンブルグ辺境伯クリスチャン・ルートウィッヒ(1677~1734)に6曲の協奏曲を献呈した。その6曲の中でもっとも多く演奏される名曲だが、協奏曲としては一風変わっている。

第一に、ここには楽器編成上ソロとトゥッティの区別がまったくみられず、それぞれ3部ずつのヴァイオリンとピアノとチェロが互いに対等の資格で協奏するのである。コンチェルト・グロッソでもなく、ソロ・コンチェルトでもない。このようないくつかの対等な楽器群が協奏するものは、コンチェルト・シンフォニアと呼ばれる。

❖ ヴィヴァルディ コンチェルトグロッソ ニ短調 Op.3-11

アントニオ・ヴィヴァルディ(1678~1741)は、イタリア、ヴェネチアの作曲家で、生涯に約450曲もの協奏曲を作曲したが、その7割以上が弦楽器のみによるものである。その中で「調和の靈感」と呼ばれ全12曲の作品があり、今回演奏するのはその第11番目の曲である。

ヴィヴァルディにとってこのコンチェルトグロッソの「調和の靈感」は1711年オランダで出版されてから彼の名声を決定的なものにした。

❖ ヴァンハル コントラバス協奏曲 ニ長調

ヨハン・バプティスト・ヴァンハルは1739年ボヘミアに生まれ、1813年にウィーンで没した。1761年に才能に注目したシャフゴツチュ伯爵夫人に伴われてウィーンに行き、当時の名コントラバス奏者であり作曲家のデッタードルフに師事、たちまち作曲家、教師として名声を獲得した。

ヴァンハルの作品はハイドンの作品と混同されることが度々あるため不明な点が多いが、作品として出版された作品は700種以上と述べられている。

このコントラバス協奏曲はヴァンハルがコントラバスの美点を知悉していることから、その旋律を豊かに歌わせる趣向がみられる。またロンド形式の第3楽章では、巨匠的な技巧と音楽の喜びが見事に結ばれている。

❖ ブリテン シンプル・シンフォニー

ブリテンは1913年に生まれたイギリスの作曲家である。シェーンベルクによって調性との訣別を果たして以後、難解になった西洋音楽界にあって、ブリテンは調性原理を主におき、歌劇、管弦楽、室内楽、劇音楽や映画音楽といった広い分野で作品を多く生み出した。そしてこのシンプル・シンフォニーは、ブリテンが20歳の時の作品である。もともとは彼が子供の頃に書いたピアノ曲からの改編で、それぞれの楽章にブリテンがつけた表題がある。

第1楽章「騒がしいブルーレ」 第2楽章「ふざけたピチカート」
第3楽章「感傷的な舞曲」 第4楽章「空さわぎのフィナーレ」

(村岡 聖子)

弦楽合奏団『エテルニータ』メンバー

ヴァイオリン

ψ 青柳 敬子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、宇都宮短期大学卒業。
増田貴子、星野和夫、吉村成司、鈴木鎮一の各氏に師事。
才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。
スズキアンサンブル「弦」メンバー。

ψ 片山 淑子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学ヴァイオリン科卒業。在学中、故 久保田良作氏に師事 卒業後、ソロ、室内楽を浦川宜也氏に師事。アンサンブル「どるちえ」を結成し小学校はじめ道内各地にて演奏活動。1990年にリサイタルを行う。札幌交響楽団に5年在籍。

ψ 川俣 洋子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学器楽科卒業。同大学大学院器楽専攻修了。岩本政蔵、井上武雄、鷺見健彰、鷺見四郎、石橋洋子、梅津南美子の各氏に師事。
宇都宮にてジョイントリサイタル『ヴァイオリン二重奏の夕べ』開催。アルビノー二室内合奏団を経て、現在、フリーの演奏家としてオーケストラ、室内楽等で活動の他、後進の指導にあたっている。アンサンブル・プリランテメンバー。

ψ 小松崎 倫子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。故 鈴木史子、吉村成司、萩原耕介の各氏に師事。
現在、宇都宮市立旭中学校教諭。
栃木県交響楽団、ベルベート弦楽四重奏団メンバー。

ψ 篠原 香乃子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽学科卒業。故 永岡国雄、吉村成司、星野和夫、掛谷洋三の各氏に師事。
宇都宮コミュニティカレッジ、柿ノ木坂芸術学校でヴァイオリン講師を務めた。現在、柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、後進の指導にあたっている。室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

ψ 土屋 恵子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、上野学園大学音楽学部器楽学科卒業。増田貴子、吉村成司、竹内茂の各氏に師事。
上野学園オーケストラ助手を8年、同ヴァイオリン教室講師を23年務めた。現在、自宅での後進の指導にあたっている。

ψ 福富 恵子

宇都宮短期大学卒業。吉村成司、鷺見健彰の各氏に師事。
柿ノ木坂芸術学校でヴァイオリン講師を務めた。
現在、柿の木幼稚園ヴァイオリン講師、後進の指導にあたっている。室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

ψ 村岡 聖子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、武蔵野音楽大学器楽科卒業。青柳敬子、星野和夫、田尻順、ゲオルギバデフ、ヴィーツラフ・スニーチル(2000年プラハサマースクールのマスタークラスにて)、深山尚久の各氏に師事。
カワイピアノ発表会ゲスト演奏や盲導犬チャリティーコンサート、小学校記念式典での演奏会などを行う。
現在、柿ノ木坂芸術学校講師、真岡市民交響楽団コンサートミストレス、後進の指導にあたっている。

ヴィオラ

ψ 阿久津 雅志

宇都宮短期大学附属高校音楽科、宇都宮短期大学卒業。鷺見健彰、吉村成司、鈴木鎮一、小林武史の各氏に師事。
現在、才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。
ミュンヘンにて行なわれた指導者大会に参加。
韓国(2回)、オーストラリアにて演奏とバイオリン指導など多数。スズキアンサンブル「弦」メンバー。

ψ 小崎 えり子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学器楽科卒業。群馬交響楽団在籍後、ラーク弦楽四重奏団でヴィオラを中心に活動。現在、室内楽を中心に、演奏活動しながら後進の指導にあたっている。群馬室内合奏団団員。

ψ 川沼 文夫

宇都宮短期大学音楽科バイオリン専攻卒業。東京芸術大学別科ピオラ専攻卒業。立花和夫、吉村成司、鷺見四郎、中塚良昭、鈴木鎮一の各氏に師事。
現在、才能教育研究会宇都宮支部バイオリン科指導者。
宇都宮室内合奏団、スズキアンサンブル「弦」メンバー。

チェロ

ψ 荒川 育子

宇都宮短期大学附属高校音楽科、国立音楽大学器楽学科卒業。現在、後進の指導にあたっている。
室内合奏団、オーケストラ等でも活動中。

ψ 玉川 克

宇都宮短期大学附属高校音楽科卒業、桐朋学園大学カレッジディプロマコース修了。宮田豊、尾形篤信、増淵滋、林峰男、倉田澄子、花崎薫の各氏に師事。室内楽をゴールドベルク山根美代子氏に師事。マリオ・ブルネロ、ジャン・ギアン・ケラス両氏の公開レッスンを受講。1996年栃木県学生音楽コンクール1位入賞。1998年札幌チェロジュニアコンクール奨励賞、日本クラシック音楽コンクール3位入賞。2003年「若い人のためのサイトウキネン室内楽勉強会」参加。ソロ、弦楽四重奏団「昴」でリサイタルを開くなど、室内楽、オーケストラなどで活躍中。

コントラバス

ψ 増山 一成

宇都宮短期大学附属高校音楽科、東京芸術大学音楽学部器楽科卒業。ウィーン国立音楽大学に留学。沖不可止、今村清一、江口朝彦、小野崎充、ルートヴィヒ・シュトライヒャーの各氏に師事。現在、読売日本交響楽団コントラバス首席代行。東京ハルモニア室内オーケストラ コントラバス奏者。宇都宮短期大学附属高校音楽科非常勤講師。エローラアンサンブルオーケストラメンバー。

エキストラ

ψ チェロ 寺田 達郎

ψ チェンバロ 小倉 史江